# きょう三陸津波25周年

# 警報伝達や避難

## 沿岸各地 〝惨事繰返すな〟の訓練

きょう三日は三陸津波の二十五周年にあたる。昭和八年に本県だけで二千六百余人の犠牲者を出した惨事を再びくりかえすまいと、沿岸各市町村はこの日を記念して、ことしも警報伝達訓練や避難訓練を行う。津波警報は仙台管区気象台から発せられ、盛岡地方気象台や宮古測候所、県警本部、岩手電気通信部の連絡網を通じて市町村に伝達される。

▽宮古市　一般の避難訓練は行わず、警報の伝達に重点をおき、気象台—測候所を経てくるのと、警察や電話局を通じてくるのと三本建の伝達を受け、一番早い警報で全市にサイレンを吹き鳴らし、津波の時の警報の特徴を知らせる。また鍬ヶ崎や藤原方面では自主的に学校など避難訓練を行う予定。

▽田老町　昭和八年三月三日の津波来襲時の午前三時三十分にサイレンを吹き鳴らして当時をしのび、町民の避難訓練を行う。また警報伝達やサイレン吹き鳴らしの訓練を行う。

▽山田町　一般の避難訓練は行わず警報の伝達に重点を置いて訓練を行う。

▽釜石市　午前六時から旭町、嬉石、唐丹、両石、箱崎各地区で警報の伝達と避難訓練を行う。釜石海上保安部は同時刻を期して釜石港在泊船舶の海上避難訓練を行うとともに、庁舎流失に伴う通信の連絡確保の訓練を行う。

▽久慈市　最も被害のはなはだしかった久慈湊地区では久慈署を通じて伝達される警報を受領次第半鐘を鳴らし、これを合図に学童を先頭とし地区民約六百人が避難場所にきめられている金比羅神社境内に避難の訓練を行う。なお九戸沿岸各校も当日津波記念日の訓話と避難訓練を行う。

▽大船渡市　午前六時ごろ仙台管区気象台からの警報を市消防本部が受け、直ちに赤崎、大船渡、末崎の各沿岸危険地区に連絡、半鐘やサイレンを鳴らして約四百人の消防団員が出動して伝達と避難の訓練を行う。また各学校では津波記念日にちなんだ講話会がある。なお陸前高田市、三陸村でも同様訓練が行われる。

## マニラで合同慰霊祭

【マニラ二日藤井共同特派員発】フィリピン遺骨収集団は収骨を終え、二日午前十時からマニラの日本大使館公邸で全地区の合同慰霊祭を行った。収骨団員、銀河丸乗組員、練習生、大使館員、在留邦人などをはじめ、マニラに滞在中の神戸女子バスケットボールの選手ら日本人ばかり約二百五十人がこの式に参列した。なお一同をのせた銀河丸は同日午後四時マニラを出発、故国へ向かった。

## 岩大学芸学部長 選挙きょう告示

岩手大学学芸学部長の選挙は現学部長浅見稲次良氏の任期満了に伴い三日告示、十三日行われる。十三日は午前九時から午後四時まで同学部事務長室で有権者（教授、助教授、常勤講師）八十四人が被選挙権者の教授二十二人について投票する。いまのところ浅見現学部長のほか、黒沢誠、森嘉兵衛、高橋康文の三氏も候補にのぼっている。なお同日の選挙で有権者の過半数を得たものがないときは二十日の第二次選挙に持ち越され、同選挙でも最高点者が投票数の過半数を得ない場合は、二十四日の決戦投票で決定する。

## 進学課程は十倍半 医大の志願者

岩手医科大学と盛岡短期大学志願者の願書は二月末日で締め切られ、このほど郵送分も含めて最終の志願者数がまとまった。岩手医科大学の進学課程（高校卒）は五十人の定員に応募者は五百二十八人で一〇・五倍強、昨年の志願者は四百十一人で、ことしは百人ほど多くなっているが、志願者は本県関係者の百人余りを除き、他は全国各地の高校生で占められ、遠くは鹿児島から五人も願書を出している。また専門課程（大学二年修了）は若干名の募集に七十人を数え、就職難の世相を反映してか、卒業後のアブレがないと〝医師の門〟は年々狭くなっている。

一方盛岡短期大学は定員七十人に対して百九十九人の二・八倍強、それでも志願者は一昨年あたりから年々減少の傾向を示している。なおことしから再募集を始めた別科（一年課程）の願書受付は十日までとなっている。

## 岩大入試きょうから

### 狭き門突破へ先輩も躍起

岩手大学の入学試験は三日から五日までの三日間各学部（学芸学部は一般教育部）で行われる。農、工、学芸三学部の志願者は二千二百二十八人で総定員六百十五人に対し三・六倍の狭き門。とくに工学部関係は機械工学科の七・五倍を筆頭に各科とも激しい競争率を示している。入学試験の日程は第一日午前九時から理科、国語、社会の三科目、第二日午前九時から数学、外国語のほか、学芸学部美術関係志願者の水彩画、第三日午前九時から学芸学部志願者の実技検査となっている。

【写真は盛岡駅に張られた岩大受験特設案内所】

他県からきた志願者はすでに一日ごろから盛岡市内の旅館に乗り込み、参考書と首っ引きで最後の追込みに全力をあげている。一方、各学部の学生は受験にきた後輩の便宜をはかるため二日の日曜降り続いた雪まじりの天候の中で盛岡駅前にテントを張り、受験者への道筋を教えたり、旅館のあっせんなどに先輩ぶりを発揮。また学生の中には例年通り「最後までケッパレ〇〇高生！」「勝利の女神はそこまできている 先輩」など例年のように〝激〟のビラ張りに余念がなかった。

なお合格者発表は十日ごろ大学本部前に掲示し、本人にも通知する。

## 中学の時間配当改定へ

# 最低1120時間に

## 進路別に弾力性持たす

昭和三十七年度の新学期からの実施を目標に、中学校の教育内容を再検討している教育課程審議会の中等教育分科会（会長日高第四郎氏）は一日開かれ、特別教育活動と必修、選択全教科の時間配当の改定方針をまとめ、中学校の全教育課程の改定作業を終った。この日決まった改定方針によると、時間配当は国家基準を明確にするため、年間最低総時間数、選択時間数をそれぞれ千百二十時間、百五時間とおさえ、進路別に弾力性をもたせるとともに、新たに週一時間『道徳教育』の時間が特設された。また特別教育活動の時間は、いままでのホームルームに代って学級活動の領域が新設され進路指導を行うことになった。

文部省は、今月中旬までに教育課程審議会から改めて文相あて改定教育課程の答申を受け、八月までに指導内容の細目を示した新学習指導要領を省令として決める予定である。しかしこの改定方針に対し『最高時間を決めないと、進学のため補習教育を激化させる』『進路別コースは教育の機会均等に反する』という声も教育界にあがっている。

**時間配当**　現在の授業時間の配当は昭和二十六年に決まったもの。しかし必修教科の時間数を週当り二十六—二十九時間と決めてあるだけで総時間数、選択教科全体について規定はなかった。このため文部省の調査によると中学校の必修教科の時間数は二千三百—三千五時間まで種々雑多。そこで最低国家基準を明確にし、それに就職、進学の進路別教育の実施、道徳教育の時間の特設、基礎学力強化の新方針に沿い、新たに時間配当を決めた。

▽**時間数**＝従来各教科ごとに最低最高時数が決められていたが、こんどは最低時数だけ示した。またマチマチだった一時間の長さを五十分とした。時間数でみると、上位学年にいくほど総時間数と必修時間数との差を大きくして余裕を持たせ、進路別に選択で必要な教科を履修できるようになっている。

▽**必修教科**＝一年で理科を含む基礎学力をつけるため、総時数を週一時間ふやして二十七時間とし、二年は従来通り二十六時間、三年では進路別コースとなるため社会、数学両教科を減らし二十四時間。特に中学二年では歴史教育を強化するため、社会科を一時間ふやして五時間、三年では欠点といわれる読解力をつけるため、国語を四時間から五時間としたのが注目される。進路別になる三年には音楽、美術が減らされ、三年の進学組には職工商などの代りに数学、外国語をさらに選択でとり、おのおの週五時間以上履修するよう文部省は指導する方針である。

▽**選択教科**＝これまでこの教科は必ずしも履修しなくともよかった。しかしこんどは各学年とも選択教科を年間最低百五時間学習することになり、就職組は主として農、工、商業、水産、家庭のうち一—二教科をとり、進学組はおもに外国語『その他の教科』として数学を勉強する方針がとられた。なお『その他の教科』では音楽、美術、生花、茶道なども履修でき、私立学校では道徳の代りに宗教も学習できることになっている。

**特別教育活動**　㊀従来週二—五時間行われてきたが、この領域のホームルームで行われていた道徳教育が特設時間に移ったため、これに代る学級活動の領域を新設するほか、特別教育活動は生徒会活動、クラブ活動、全校または学年の集会活動の四領域とする。㊁学級活動は毎学年週一時間以上実施し、学級内問題の処理、健康指導、レクリエーション、進路指導を行う。㊂特に進路指導はコース別教育徹底のため毎学年計画的に行い、卒業までに四十時間以上実施することになった。

なお教科などの最低時間配当は別表の通り。

### 最低時間配当

| | 学年 | 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|---|---|
| 必修教科 | 国語 | 175 （5） | 140 （4） | 175 （5） |
| | 社会 | 140 （4） | 175 （5） | 140 （4） |
| | 数学 | 140 （4） | 140 （4） | 105 （3） |
| | 理科 | 140 （4） | 140 （4） | 140 （4） |
| | 音楽 | 70 （2） | 70 （2） | 35 （1） |
| | 美術 | 70 （2） | 35 （1） | 35 （1） |
| | 保健体育 | 105 （3） | 105 （3） | 105 （3） |
| | 技術 | 105 （3） | 105 （3） | 105 （3） |
| | 小計 | 945 （27） | 910 （26） | 840 （24） |
| 選択教科の時間数 | | 105 （3） | 105 （3） | 105 （3） |
| 選択教科 | 外国語 | 105 （3） | 105 （3） | 105 （3） |
| | 農業，工業，商業<br>水産又は家庭 | 70 （2） | 70 （2） | 70 （2） |
| | その他の教科 | 35 （1） | 35 （1） | 35 （1） |
| 道徳（仮称） | | 35 （1） | 35 （1） | 35 （1） |
| 特別教育活動 | | 35 （1） | 35 （1） | 35 （1） |
| 年間総時数 | | 1120 （32） | 1120 （32） | 1120 （32） |

【注】カッコ内は週当り指導時間数の平均。

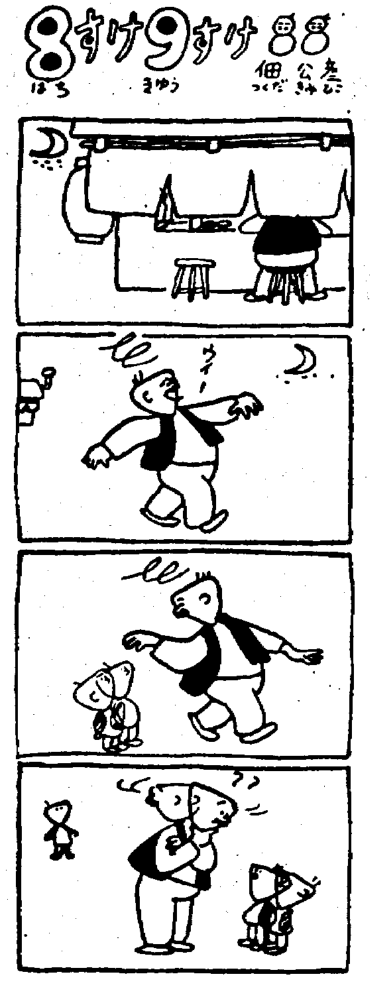
## 紙芝居でひな祭

### 青雲荘の子、大はしゃぎ

【写真はBBSのお兄さんお姉さんの慰問で〝ひな祭り〟を楽しむ青雲荘の子どもたち】

三日は〝桃の節句〟—女の子のある家庭では〝おひな様〟を飾って子どもの成長を祝うが、二日、一足お先に〝おひな様〟はないけれども楽しい〝ひな様〟に祝福された子どもたちがあった。盛岡市加賀野吾木場の社会福祉法人青雲荘（理事長小原紀一氏）には両親のない子、片親のない子など、恵まれぬ子どもたち四十一人が収容されているが、この子どもたちにひとときでも楽しい環境を与えようと、盛岡BBSの会＝委員長多田礼一氏＝は十二人の会員がお金を出し合って〝ひしモチ〟〝あられ〟などおひな様のお菓子の贈物を買って、紙芝居や幻灯機を持って午後一時半ごろ同荘を訪れた。突然の訪問客に子どもらは大喜び。いつも遊び場になっている娯楽室には、恵まれた家庭の子と違って〝おひな様〟は飾ることができずさびしそうだったが、歌遊びやお兄さん、お姉さんたちが見せてくれる紙芝居、幻灯会に大はしゃぎ。『カチカチ山』の即興劇にはお腹をかかえてころげまわり、最後にみんなで〝ひな祭りの歌〟を合唱して別れた。

なお同荘ではことし中学を卒業する少女が二人いるが、小原理事長はじめ職員の努力で二人とも早くも就職が決定。春は暖かい風を同荘に送りこんでいる。BBSの会では、このあと盛岡市北山にある県立杜陵学園も慰問した。



8すけ9すけ88
はち きゅう
佃公彦
つくだきみひこ
ウイー

酔眼モウロウ

## 前半は高く後半に低温 三月の長期予報

盛岡地方気象台は一日、三月の一カ月長期予報を次のように発表した。

三月は大陸の高気圧が強まる傾向にあるが、前半は大したことなく、むしろ暖かい日が多く、一時かなり高温の日もある見込み。しかし後半は西高東低の気圧配置となりやすい見込みなので低温が出やすく、特に北部や西部の山ぞい地方は風雪気味の日が多くなる。

◇**気温**　▽上旬　月初めと旬半ばごろは平年並か低くなるが、その他の日は高温が出やすく、一時かなり高温の日もある。▽中旬　旬初めはまだ高温の傾向だが旬半ば以降は低温が出やすくなる。▽下旬　一時高温の日もあるが低温の日が多い。

◇**降水量**　▽上旬　全般に平年並だが、特に旬末から中旬初めにかけてやや降りやすくこのころ日本海低気圧により南風が強まるかもしれないので、なだれの多い地方は特に注意のこと。▽中旬　沿岸地方や内陸平野部は平年並だが、北部と西部は平年並かやや多く、旬初めごろ日本海低気圧の季節風が強まる見込み。▽下旬　沿岸地方や内陸平野は少めだが、北部と西部では風雪気味の日が多く、所によってはかなりの積雪があるかもしれない。

## 採鉱科加え特殊教育

### 摺沢高の松川分校 魅力ある定時制に

減る一方の定時制高校入学志願者対策の一つとして摺沢高校松川分校＝東磐井郡松川村＝では石灰資源にめぐまれた地域の特質を生かし〝魅力のある定時制〟に脱皮しようと新年度から実業課程の採鉱科目を加えた特殊教育を行うことになり、定時制高校再検討の声が高い折から注目されている。

同分校の就学者は農村の二、三男がほとんどで進学より就職を希望するものが多いのに、教科目が普通科一本やりとあって〝就職の門〟も閉ざされ、このため入学志願者も毎年半数以下（定員各学年五十人）今年など二月十五日現在わずか一人という状態で、せっかく一昨年独立校舎を建設した村側の努力も空しく、閉鎖一歩前の危機にさらされている。ところが、周辺には豊富な石灰資源を活用する各種工場があり、しかも今年は近代的施設を誇る岩手セメント工場が操業するなどの開発ブームに刺激され、これら地域の特性に即した特殊教育を採りあげることによって懸案を解決しようと、村当局、議会はじめ関係者が協議した結果、鉱工専門高校に衣替えする前提として、今年から普通課程に採鉱科目を加えた特殊高校として発足することになった。講師にはセメント工場はじめ石灰関係各技師に依頼し、農村の二、三男に採鉱部門の基礎知識を持たせ特産の石灰資源について深い認識を与えて〝狭い就職の門〟を切り開こうという計画である。

## 二世帯が全焼

### 釜石、隣家半焼

二日午前零時二十分ごろ釜石市甲子町小佐野一三ノ七三仕立業小田部光さん（四七）同佐藤忠さん（三二）の同居家屋から出火、住居一むね十坪半を全焼、さらに隣家の荷車製造業佐藤金之丞さん（六三）方作業場八坪を焼き、午前一時ごろ鎮火した。原因は釜石署で調査中であるが、損害二十万円。

## 歌曲で尾形君一位

### のど自慢東北大会 本県、七年ぶりで

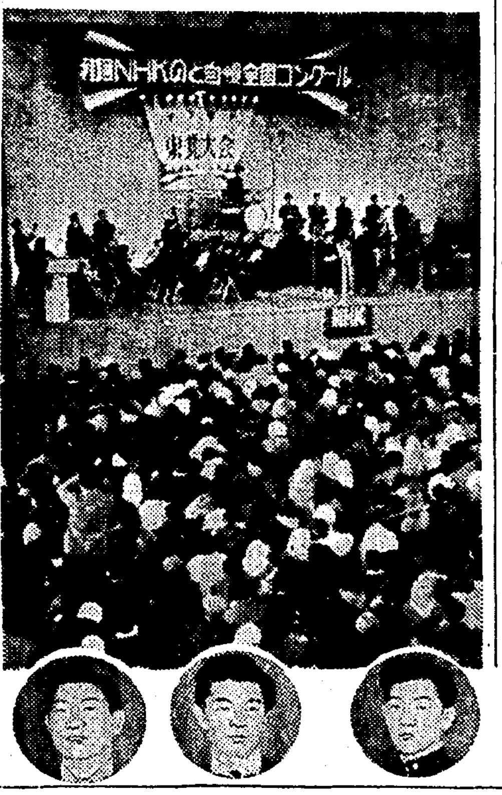
NHKの第十一回のど自慢コンクール東北大会は二日午後一時半から盛岡市上田の盛岡体育館に東北六県から十八人の代表が参加して得意のノドを競った。東北大会が盛岡で開かれたのはこんどがはじめてで、この日は朝から近郷近在の聴衆がぞくぞく詰めかけ、東北各県からの声援者も含めて約四千人の聴衆をのんで、さしもの広い体育館もぎっしり。仙台中央放送局放送部長笠間守彦氏を審査員長に福島大学講師大川茂氏、本県出身の民謡研究家武田忠一郎氏ら十氏が審査に当り、超満員の声援とアラシのような拍手のうちに第一部歌曲、第二部民謡、第三部歌謡曲の順に進んだが、審査の結果、歌曲の部で本県代表の尾形利夫君（盛岡）が一位、民謡の部では北田寅八さん（都南村）が二位となり、第四回大会以来七年振りで本県から尾形君が全国大会に出場することになった。なお全国大会は三月二十一日に東京の日比谷公会堂で開かれる。順位次の通り。

▽**歌曲の部**❶『汝こそわが恋い』尾形利夫（岩手）❷『歌に生き愛に生き』若井悠紀子（宮城）❸『衣裳をつけろ』佐藤泰治（宮城）

▽**民謡の部**❶『船方節』佐々木常雄（秋田）❷『木挽唄』北田寅八（岩手）❸『遠木石節』武藤実（宮城）

▽**歌謡曲の部**❶『ふるさとの雨』須田健一（山形）❷『サビタの花』佐野隆雄（宮城）❸『星が流れる』仲山真喜子（秋田）

歌曲の部で一位になった尾形利夫君（二三）＝盛岡市天神下＝は岩大農学部四年で、昨年ののど自慢県大会で歌曲の部一位となっており、試験で思うように練習はできなかったといいながらも堂々一位を獲得した。本県からは一、二、四回にそれぞれ歌曲の部で全国大会へ出ているが、こんどは七年ぶり。民謡の部一位の佐々木常雄さん（二三）＝農業＝は秋田県大会に連続四年出場したが、一度も入賞しなかったといい、歌謡曲第一位の須田健一さん（二一）＝会社員＝はのど自慢には五回出場、東北大会二位が三回というベテラン。また民謡の部で二位となった本県代表北田寅八さん（三九）は秋田代表にわずかの差で敗れて残念そうな表情だった。



第11回NHKのど自慢全国コンクール
東北大会

【写真は超満員の聴衆を集めたのど自慢東北大会と右から一位の歌曲尾形君、歌謡曲須田君、民謡佐々木君】

---

青森市松波町学生菊地賢さん（二七）は東北本線小牛田—花巻間下り一一三列車内で背広、靴、洗面具など在中のビニール製スーツケース（一万八千円相当）を網だなから盗まれ、盛岡公安室へ。

## 職員室荒される

岩手郡雫石町御明神小学校校長向野与太郎さん（五〇）は二十八日夜から一日夜までの間に職員室においた現金五千三百円とカメラ一台（一万五千円相当）を盗まれたと盛岡署へ届け出た。

## 車輪にふれて重傷

二日午前六時五十分ごろ、下閉伊郡川井村大字夏屋字戸沢地内県道で、同村川内藤尚満次郎さん所有トラック＝藤尚清運転手（三三）＝に便乗していた同村夏屋四ノ九農佐藤貞さん（五〇）は目的地についたので飛び降りようとしたところ、背負い袋が車体にひっかかって転倒右後車輪にふれ、ロッ骨三本を骨折、右肺臓負傷、頭部ザ創の重傷を負い生命危篤。

## 電柱に衝突

一日午後九時五十分ごろ一関市地主町磐井橋付近の国道上で、水沢市柳町時計商佐々木敏郎さん（三七）は酒に酔ってオートバイでリヤカーをひいて水沢に帰る途中、付近の電柱に触れ頭部に全治一週間の傷を負った。

## 店頭の魚消える

北上市黒沢尻町本石町魚屋八重樫総蔵さん（四七）は一日夜から二日午前四時までの間にサバ、サンマ、チクワなど（千八百円相当）を盗まれ、北上署に届け出た。

## 太田聴雨氏

（本名栄吉、東京芸大助教授、日本美術院同人）神奈川県鎌倉市山内台山八七二二日午前五時十分脳出血のため、東京都台東区上野桜木町三三浜野病院で死去。宮城県出身、六十一歳。

## 紙風船

◇…『幸福の手紙』というのがまたぞろ盛岡市内の小中学生間に舞い込んで親や先生たちを悩ませている。

◇…『この手紙は沖縄から順々に送られてきたもので、二十四時間以内に友人五人に同文の手紙を出せば幸福が訪れるし放っておくと不幸がきます』という内容のもの

◇…本当に出さなければいけないのかしら—と先生に相談に来る生徒もあるといい、放っておけば広まる一方だと先生方は形を変えた新手の迷信の追放に大弱り。

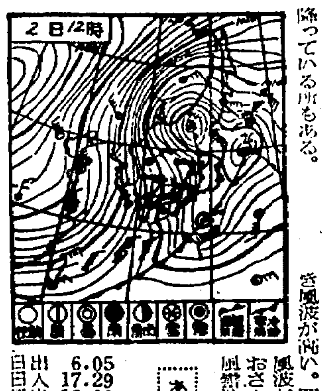
## バッテリー盗難

釜石市甲子町清涼飲料製造業高橋学さん（三七）は、一日午後四時ごろ工場わきの車庫から、オート三輪用バッテリー一個（五千円相当）を盗まれ、釜石署に届け出た。

## 網棚から衣類

二日午前零時半から同二時半までの間に、

## 天気予報



【概況・二日午後三時】北海道の西と三陸沖及び四国付近には低気圧があって前線を伴っている。一方大陸の高気圧が西の方から張り出してきたので、本邦付近は曇りの所が多く、西日本では晴れ間もみられるが、北日本では雨か雪の降っている所もある。

【内陸】三日は北西の風、晴れたり曇ったりでにわか雪があるが、山沿い地方では雲多く時々雪。四日は西寄りの風、晴れ時々曇り。

【沿岸】三日は北西の風、はじめ曇りで一時小雪が降るが、のち曇り時々晴れとなる。四日は西の風大体晴れの天気。

【海上】三日は北西の風、引き続き風波が高い。四日は北西の風、風波があるが、次第におさまってくる。

風雪注意報発令中。

あす（4日）の暦　（旧1月14日）

日出　6.05
日入　17.29
月出　16.00
月入　4.21
月齢　13.5
潮名　大
満潮　3.00
〃　14.15
干潮　8.40
〃　21.10

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。